

## 研究部だより

### 【数学I分科会】

#### ①取り組みとテーマ

今年度は研究テーマを「大学進学を見据えた『データの分析』の効果的な指導の研究～「仮説検定の考え方」の授業の充実を目指して」と設定し、統計分野について研究していく。また、分科会参加者の興味・関心のある分野・内容（数学I・数学Aやそれらの発展例）についての個人研究も同時に行っていく予定である。

#### ②活動日程

第1回 6月13日(火) 16:30～19:00 都武蔵高・附属中

第2回 8月(予定) 都武蔵高・附属中

※その他の日程は未定。都数研ホームページに掲載する。

③令和5年度の世話人 都武蔵高 野並 悠輔  
都東久留米総合高 佐々木啓丞

### 【学習指導法分科会】

#### ①取り組みとテーマ

「生徒の興味・関心を引き出す指導」をテーマに研究を続け、今年度は第105回全国算数・数学教育 研究(青森)大会にて研究発表を行う。大学生から大ベテランの先生まで、都立だけでなく国立や私立学校も、高校だけでなく中学や大学の先生も参加している。4月より完全に対面での研究協議になった。

#### ②活動日程

第1回 4月22日(土) 14:00～ 3時間程度 都西高

第2回 5月20日(土) 14:00～ 3時間程度 都西高

第3回 6月17日(土) 14:00～ 3時間程度 都西高

第4回 7月15日(土) 14:00～ 3時間程度 都西高の予定

※6月23日(金)13:00～ 研究協議会

立川国際中等教育学校 秋庭先生

※その他の日程は未定。都数研ホームページに掲載する。

③令和5年度の世話人 都西高 村形 政信  
都国立高 平井 恒

### 【ICT分科会】

#### ①取り組みとテーマ

- 1) ICT分科会のサイトを活用した教材の共有教材の整理
- 2) ICTを活用した授業研究
- 3) GRAPES や GeoGebra 等のコンピュータソフトウェアの活用・教材作成
- 4) デジタル教科書の研究
- 5) ICT 機器の活用
- 6) ICT 講習会の開催
- 7) コロナ禍におけるオンライン授業の研究

#### ②活動日程

第1回 4月15日(土) 14:00～ 3時間程度 都国際高

第2回 5月27日(土) 14:00～ 3時間程度 都神代高

第3回 6月24日(土) 14:00～ 3時間程度 都神代高

第4回 7月26日(水) 14:00～ 3時間程度 未定

※その後は決定次第、都数研ホームページに掲載する。

③令和5年度の世話人 都武蔵丘高 飯塚 京子  
都国際高 山下 雅也

### 【大学入試分科会】

#### ①取り組みとテーマ

関東近辺の大学を中心に入試問題の研究を行っている。

毎月1回定例会を開き、各自が分担した大学入試問題の検討結果を報告し、どのような解法が考えられるか、その問題の背景にどのような定理・公式・理論が広がっているか、日々の授業にフィードバックできることはないか等の研究協議を行っている。

また、1年間の研究成果をまとめ、研究集録に「2010年度大学入試問題の研究」を掲載する。

一人ですべての大学の入試問題を解き、研究するのは困難であるが、仲間とともに研究することにより、多くの入試問題に触れることができる。そのため、大学入試に対応する力が飛躍的に向上する分科会である。

#### ②活動日程

第1回 4月22日(土) 14:00～ 1.5時間程度 オンライン

第2回 5月27日(土) 14:00～ 1.5時間程度 オンライン

第3回 6月24日(土) 14:00～ 1.5時間程度 オンライン

※その後は決定次第、都数研ホームページに掲載する。

③令和5年度の世話人 都小石川中等 前田 徹  
都両国高 進藤 貴志

### 【定通分科会】

#### ①取り組みとテーマ

例年、「定時制の生徒が基礎基本の定着を図りながら、主体的に取り組みやすく、対話等を通じて学びを深める授業」をテーマに、6月と11月に研究授業を実施している。また、その成果を1月に行われる定通教育指導体験発表会にて発表を予定している。今後は、全国算数・数学教育 研究大会等の学会にて研究発表を行うことも視野に入れていきたい。また、分科会参加者の興味・関心のある分野・内容についての個人研究についても、研究協議会で発表する機会を設定し、数学教育に加え、教育工学の分野においても議論を深めていきたい。

#### ②活動日程

第1回 6月20日(火) 16:05～ 3時間程度 都大江戸高

第2回 8月(日時未定) 3時間程度 都大江戸高

※以降、決定次第、都数研ホームページに掲載する。

③令和5年度の世話人 都大江戸高 今井 陽一  
都一橋高・定 渡辺 恭介

文責 編集部 武井 政博(都大泉桜高)